（2）大津市幼稚園教員のキャリアステージおける身につけたい具体的な資質・能力　【教諭】

第3期教育振興基本計画基本方針			資質・能力	着任時(1～3)	若手教員(4～9)	中堅教員(10～17)	ベテラン教員(18～)
新しい価値と可能性を追求する大津の教育 ～多様性を尊重する人～	次代を生き抜く力を育みます	次代に活きる幼児教育を創る教員	**指導の専門的知識・技能** 「指導力」「指導改善」 「指導・評価の計画」「振り返り(記録等)」 「保育内容の理解」「教材開発」	・幼稚園教育要領を理解し、幼児理解を踏まえた環境構成や援助等の基礎的な指導力を身につけ、実践しようとしている。	・自園の幼児の実態を基に、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を具現化し、発達の連続性を踏まえた保育内容が着実に積み上げられるよう、保育の振り返り、教材開発や言葉かけなどに努めることができる。	・専門職として、保育指導の技術を向上させ、園の活気を生む自主的・積極的な園内研究や保育の振り返りを基にした指導改善を推進し、個の育ちを促す集団作りや園全体の指導力を高めることができる。	・園における指導の充実や改善のため、継続的な検証改善サイクルを確立し、また、地域・家庭と連携しながら、自園の指導力の向上に努めることができる。
			新たな学びを展開できる実践的指導力 「主体的・対話的で深い学びの基礎」 「思考力・判断力・表現力等の基礎の育成」 「学びに向かう力の育成」	・「主体的・対話的で深い学びの基礎」の実現に向けた指導改善の意義を理解し、実践しようとしている。	・「主体的・対話的で深い学びの基礎」の実現に向けて、ステージ研修や指導主事等の園訪問による助言を踏まえ、指導を改善していくことができる。	・「主体的・対話的で深い学びの基礎」の実現に向けた園内研究会・研修会の企画・運営に携わったり、積極的に保育公開したりすることができる。	・「主体的・対話的で深い学びの基礎」の実現に向け、自らの熟練した指導力を若手に継承するなど、指導改善を組織的に行うことができる。
			大津市が求める学習指導力 「超スマート社会に対応できる知識・技能」 「日本や海外の文化とのふれあい」 「ICTの活用」	・園に在籍する海外から帰国した幼児や外国の幼児に対して、安心感につながるよう、スキンシップやコミュニケーションを図るための情報を収集し、実践しようとしている。		・小学校以降の教育との接続を意識し、幼児が日本や海外の文化や外国語等に親しめるよう、指導計画に位置づけ、指導をすることができる。	・超スマート社会のニーズに対応できる教育を推進するため、幼児教育の充実と指導体制の確立を図ることができる。
	子どもが安心して学ぶことができる環境を整えます	子どもに寄り添い育み、安心・安全な園を創る教員	**道徳性・規範意識の芽生えを育む指導力** 「指導力」 「人権感覚」 「組織的に対応する能力」	・「自分がいやなことは相手もいやである」という意識をもち、個や集団を指導する基礎的な力を身につけ、実践しようとしている。	・幼児が友達と様々な体験を重ねる中で、道徳性・規範意識の芽生えや人権感覚につながる指導のスキルを高め、「相手への思いやり」「命の大切さ」等の育ちにつながるように取り組むことができる。 ・いじめ防止に係る法令や国・地方の基本方針等を理解し、いじめ問題について理解し、幼児教育と関連して、実践しようとしている。	・善悪の判断や相手を思いやる気持ちの育ちにつながるよう、個や集団への指導のスキルを身につけている。 ・トラブル等の中で、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けていけるよう、傾聴・共感するスキルを高め、適切な援助を行うことができる。	・園内での様々な課題解決に向け、関係機関等と連携するなどリーダーシップを発揮することができる。 ・保護者への適切な支援を行い、組織的な指導体制を強化することができる。
			子どもの思いを読み取る感性 「教育相談」 「幼児理解」 「心理・発達論的な子どもの理解」	・幼児一人一人の思いに関心をもち、その思いを読み取ろうとすることができる。 ・幼児の心に寄り添った教育相談の意義を理解し、基礎的なスキルを身につけ、実践しようとしている。	・幼児の様子を丁寧に観察するとともに、保護者とのやり取りの中で様々な情報を把握し、その幼児と取り巻く環境や背景を理解することができる。 ・園長や保育主任等と連携し、「報告・連絡・相談」を継続しながら、幼児の心に寄り添った相談や実践を行うことができる。	・課題を抱えた幼児の対応について、関係機関等の専門的な助言を得ながら教育相談にあたることができる。 ・園内の研修会などで適切な見立てを行い、支援方策を検討するなど、幼児の改善状況を継続的に共有しながら、組織的に取り組むことができる。	・園内の教育相談の中核として、課題を抱えた幼児の見立てや支援方策を検討し、関係機関と連携するなどリーダーシップを発揮することができる。 ・子育ての様々な課題への対策として、児童福祉機関や医療機関等の専門的な機関とのネットワークを充実させるなど、保護者への組織的な支援体制に取り組むことができる。
			特別な配慮を必要とする子どもへの指導 「インクルーシブ教育システムの構築」 「発達障害を含む特別な支援を必要とする子どもへの対応」 「ユニバーサル・デザイン」 「合理的配慮」	・個に応じた特別支援の意義を理解し、基礎的なスキルを身につけ、実践しようとしている。 ・障害や発達特性についての基本的な考え方を理解している。	・学級経営を通して、幼児が互いの違いを認め合い、対等な存在として助け合い、支え合える学級集団づくりを進めることができる。	・幼児一人一人の特性に応じた教育的ニーズの把握や、早期からの関係機関との連携等を特別支援コーディネーターと共に推進することができる。	・園全体にインクルーシブ教育システムの理念を踏まえた特別支援教育を浸透させるため、組織的･系統的な支援体制の充実を図ることができる。
			事故防止・危機管理を踏まえた指導力 「未然防止」 「迅速な対応」 「組織的な対応」	幼稚園事故の未然防止、事故発生時の適切な対応について理解している。	・事故発生時の対処の方法について理解し、適切な対応をすることができる。	・幼稚園事故の未然防止のための対処行動を意識して迅速な対応をとることができる。	・安全に対する意識を高く保ち、地域や保護者、関係機関との連携を図りながら、非常変災や緊急事態等について組織的に対応することができる。
	次代を見据え大津の教育を活性化する教育改革を目指します	園を常に改善し、信頼される園づくりを進める教員	**主体的で自立した園づくりのビジョンの構築** 「子どもの居場所となる学級づくり」 「チームとして組織的に諸課題に対応する学年経営力」	・学級担任の役割や職務内容を理解し、居心地のよい学級づくりを実践しようとしている。	・園教育目標を理解し、園や学級経営のビジョンを意識して指導を行うことができる。 ・幼児一人一人にとって、関係性を考慮した居心地のよい学級をつくることができる。	・幼児一人一人にとって居心地のよい学年集団を、チームとして組織的につくることができる。	・園運営上の諸課題を理解してビジョンづくりに参画し、特色ある園運営を主導し、実践を深めていくことができる。
			社会に開かれた教育課程を編成する力 「カリキュラム・マネジメント」 「教科横断的な視点」 「学校段階間の円滑な接続」	・教育課程を軸とした学校教育の改善・充実を図るカリキュラム・マネジメントの意義を理解し、実践しようとしている。	・保育内容を相互的に捉え、環境を通して豊かな体験を基礎としながら、小学校との接続を意識した指導を行うことができる。	・保育の質の向上のため、幼児の姿や保護者や地域の現状に基づいた教育課程の編成・実施・評価・改善のPDCAサイクルの確立に積極的に関わることができる。	・社会に開かれた教育課程を編成するため、教育内容と、教育活動に必要な人やものを、地域の外部資源を活用しながら効果的に組み合わせることができる。 ・幼児教育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、接続期を意識した教育課程を編成することができる。
			キャリアステージごとに求められる人材を育成する力 「OJTの推進」 「若手教員の育成」 「同僚性の構築」	・自主的に学び続ける姿勢をもち、先輩教職員のアドバイスに対して謙虚に耳を傾け、自らを改善しようとしている。	・自主的に学び続ける姿勢を持ち、自ら資質向上のために必要な研修や研究部会に積極的に参加する等、自己研鑽に努め、自らを改善しようとしている。	・ミドルリーダーであることを自覚し、園務分掌を積極的に担うと共に、若手教員の育成のためのOJTにおいて、相談を受けたり、指導・助言を積極的に行ったりすることができる。	・自らの熟練した指導力を若手に継承する機会の充実に努めたり、園務を担当している教員等を支えたりすることができる。 ・OJTの手法を取り入れた研究・研修や外部の講師の活用を促進し、組織的な若手教員の育成を推進することができる。
	社会全体で子どもを育てます	家庭・地域と連携し、地域全体が学びの場となるような変革意欲のある教員	**保護者と対話し協働する力** 「保護者との信頼関係の構築」 「保護者との連携・協働」	・保護者の思いを知り、共に子育てをしていくことの意義を理解し、信頼関係を構築しようとしている。	・保護者と学級等の現状や課題を共有化するため、通信や登降園時の対話等を通じてきめ細かに連絡したり、家庭訪問で説明 したりすることができる。	・保護者と教員の連携と共に、保護者同士の連携も視野に入れ、積極的な信頼関係を構築することができる。 ・保護者と学年等の現状や課題を共有化するため、継続的に情報を発信したり、懇談会等で説明したりすることができる。	・保護者と園等の現状や課題を共有化するため、保護者等とのネットワークを組織し、協働する場を企画・運営することができる。
			地域・関係機関と熟議し協働する力 「地域・関係機関との信頼関係の構築」 「地域・関係機関との連携・協働」	・地域・関係機関と共に幼児を育てていくことの意義を理解し、信頼関係を構築しようとしている。	・地域の人との懇談会や会議等に積極的に参加して、地域の人々と連携を図ることができる。	・地域の人々と共に幼児を育てていくという視点に立って、お互いの信頼関係を築き、様々な場で協働することができる。 ・地域の人々と園の現状や課題を共有化するため、継続的な広報活動や説明をすることができる。	・地域・関係機関の人々と熟議して、地域の目指す子ども像を共有し、その実現に向け、協働することができる。 ・地域の人々と園の現状や課題を共有化するため、継続的に園のホームページを更新したり、説明会・懇談会等で説明したりすることができる。
	共に生きる地域づくりのための社会教育を推進します	共に生きる地域づくりのための社会教育を推進し、大津に誇りを持つ教員	**教職への誇りと情熱** 「使命感」「責任感」 「教育的愛情」「郷土愛」	・大津の教員としてその歴史と伝統を継承し、その未来を見据え、将来を担う大津人を育成するという強い使命感と責任感を自覚し、誇りと情熱を持ち、温かいまなざしで幼児の成長を見守ることができる。 ・教職に就く使命感と責任感をもち、幼児と接する中で、幼児への愛情や保育をする喜びを感じる。 ・教育公務員として遵守すべき教育法規や服務等の基本的な内容を理解している。	・教育公務員として法令を遵守し、使命感をもって、粘り強く教職を努めることができる。	・教育公務員としてその責任の重さを自覚し、法令遵守の大切さを若手教員に助言することができる。	
			自主的に学び続ける姿勢 「自己研鑽」 「探究力」	・自主的に学び続ける姿勢の大切さを理解し、常に成長しようとする姿勢を持っている。 ・保育等の専門性を磨き続けようとする姿勢を持っている。	・教職生活全体を通じて、常に新たなことに取り組むなど自己研鑽に励むことができる。 ・ステージ別研修などで、保育等の専門性を磨き、探究し続けることができる。	・教科等領域別研究部会などの自主的な研修に積極的に参加して、保育等の専門性を磨き、探究し続けることができる。	・若手教員の育成を通して、保育等の専門性を磨き、探究し続けることができる。また様々な意見を求め、改善するなど、学び続けようとすることができる。
			豊かな人間性 「社会性」 「磨かれた感性」 「率先垂範」 「温かさと厳しさ」	・言葉遣いやマナーなど、社会人として礼儀正しい態度で人と接することができる。 ・豊かな人間性・社会性を高めるために、様々な活動を通して努力をしている。	・豊かな人間性や社会性といった教員に求められる総合的な人間力を高めることができる。 ・幼児や若手教員の率先垂範となり、自らの感性を日々磨き続けることができる。		・自らの感性を日々磨き続けるような職場風土の醸成に努めることができる。
			コミュニケーション 「公平で受容的な態度」 「良好な人間関係の構築」	・他者の意見やアドバイスを素直な姿勢で受け止めることができる。 ・幼児の心に寄り添い、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション力を身につけている。	・同僚や保護者や地域との対話を大切にし、公平で受容的な態度をもって良好な人間関係を構築することができる。 ・学級の諸課題の解決に向け、同僚と積極的にコミュニケーションを取り、チームで対応することができる。		・自園の諸課題の解決に向け、若手教員や同僚と積極的にコミュニケーションを取り、チームで対応する組織を構築することができる。
			ワークライフバランス 「多様な価値観、生き方、ライフスタイルの受容」 「時間制約を前提とした仕事管理・働き方」	・生活と仕事の調和・調整のとれた見通しをもつことの重要性を理解している。 ・園務を処理する際には、見通しをもって、計画的に進めることの重要性を理解している。	・仕事上の責任を果たすともに、家庭、地域においても人生の各段階に応じた多様な生き方が選択、実現できる。 ・園務を処理する際には、見通しをもって、計画的に進めることができる。	・園務を処理する際には、学年間の動きを見通し、目的や意義を考えた上で計画的に進めることができる。	・園務を処理する際には、園全体の動きを見通し、目的や意義を理解した上で、計画的に進めることができる。

令和4年作成